



3 月度議員懇談会

河川空間を利用した賑わいのあるまちづくりについて懇談

3
2

3 月度議員懇談会を
3 月 2 日午前 11 時から
福井商工会議所ビル地下
国際ホールにて開催した。

開会の挨拶に立った川田会頭は「国
の雇用速報によれば、有効求人倍
率は東京都が 1.67 倍で全国 1 位、
福井県は 1.55 倍で全国 2 位と高



い水準となっている。反対に完全失
業率は県内で 2.1% と非常に低く
なっている」と国内の雇用を取り巻
く環境について現状を説明。

一方で先週、日本経済新聞が行っ
た世論調査で、国民の 85% が『景気
の回復を実感できない』と回答して
いることを話題に挙げ、「地方経済の

中心を担う中小企業にとって景
気回復はまだ遠い存在。26 年度
補正予算および平成 27 年度予算
は、地方の中小・小規模事業者
に重点を置いた内容となっている。
新年度においても、一件で
も多くの会員事業所にこれらの
予算を効果的に活用してもらえ
るよう取り組みたい」と語った。

卓話に入り、国土交通省近畿
地方整備局福井河川国道事務所
副所長の五十川政志氏より「ミ
ズベリング・プロジェクト」河
川空間を利用したまちづくり
」をテーマに講演が行われた。
ミズベリング・プロジェクト
とは、かつての賑わいを失った
日本の水辺の新しい可能性を創

造するプロジェクトの総称。「水辺の
スペースの活用は、昔に比べ行政
の考え方も柔軟になっている。民間
企業の皆様からの柔軟な発想を是非
我々にお寄せいただきたい」と集ま
った議員に対し協力を呼びかけた。

次に、当所総合交通委員会が「昨
年「地域鉄道の在り方」について福
井県、福井市に対して行った提言を
受け、実際に実施されている改良箇
所について玉木誠副委員長（シャ
プ事務機福井販売(株)社長）より報告
がなされた。

「停留所の改良」については①停留
所の移設②ホーム幅の拡張③電車と
ホームのバリアフリー化④施設拡充、



ミズベリング・プロジェクトの
概要を説明する五十川副所長



福井鉄道における改良工事の内容について
説明する玉木副委員長

「電車の運行改善」については①路
面軌道改修（段差解消）②公共車両
優先システムの導入および車両右折
専用信号の導入を実施。超高齢化社
会を控え、さらなる整備が期待される。

最後に、国の大型経済対策予算を
活用した「プレミアム地域商品券」
の発行について、野村専務理事より
説明が行われた。プレミア率は 20
% で発行総額は 18 億円・15 万セット
の発行を予定している。商品券発行
は平成 27 年度前半を計画しており、
当所ではこれにあわせ市内事業者と
共同で販促イベントの実施を企画し
ている。

■ 会員交流会

2
10

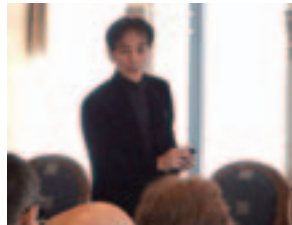
ワンランク上の写真を撮る！
会員交流会「デジタルカメラで撮影テクニックを学ぶ」

広報や企画担当者など、日頃デジタルカメラを使用する方を対象に、(株)ふくいコミュニケーションズの澤崎敏文氏を講師に迎え、撮影テクニックを学ぶ会員交流会を開催、24名が参加した。

澤崎氏は、写真を上手に撮るコツとして「常に被写体を意識する」「常にカメラを持ち歩く」「数をたくさん撮ると述べた。その後、参加者らは講義で学んだコツを意識しながら、持参したデジタルカメラで実際に様々な被写体を撮影。澤崎氏からアドバイスをもらったり、参加者同士で交流を図りながら、デジタルカメラの撮影テクニックを身につけた。



担当：会員サービス課



■ 会員交流会

2
18

城下町福井の歴史を巡るひととき
支店長交流会

県外から赴任された方に、福井の歴史・文化に親しんでいただき、福井の良さを実感していただくための交流会を開催、16名が参加した。

歴史ボランティア「とねりの会」スタッフのガイドで福井市郷土歴史博物館と養浩館庭園を見学。近代福井を作り上げた偉人の足跡に触れるとともに、映画の舞台ともなった松平家別邸の見事な風情を心行くまで堪能した。

散策後は、宝永旅館にて女将の落語を鑑賞後、福井の郷土料理に舌鼓を打った。参加した方からは「福井の良さを認識するいい機会だった、是非県外でも紹介したい」との感想が聞かれた。



担当：会員サービス課



■ セミナー・講演会

2
6

経営革新は自社の信用力を高めるためのもの
経営革新シンポジウム

新事業展開に必要な考え方と広報戦略について学ぶシンポジウムを開催し41名が受講した。講師の(株)流通プランニング研究所の川上正人氏からは「経営革新は自社の信用力を高めるもの」とし、自社の価値を人に伝える準備として、計画書等で可視化することの重要性を説いた。

また、広報の専門家である(株)マジックマイスターコーポレーションの大谷芳弘氏からの基調講演では「効果的な広報の仕方」について「印象・感動・サプライズ」が秘訣とした。その後のパネルディスカッションでは、経営者2名のパネラーと経営革新の必要性について意見交換がなされた。



担当：経営支援・人材育成課



■ セミナー・講演会

2
16

「モノ」ではなく「体験」を売れ!!
販促ワクワクマーケティングオープンセミナー

1年間を通して販売促進手法を学ぶ勉強会「販促ワクワクマーケティング」の総集編として、エクスペリエンスマーケティングの創始者藤村正宏氏を招いた講演会を開催、230名が受講した。

「お客様は商品なんて欲しくない」という衝撃的な一言からセミナーは始まり、お客様はあくまでも商品の価値が欲しいのであり、その商品の価値を伝えることが重要であると解説した。そして、価値を伝えるには「ターゲット」「伝える内容」「目的」を明確にすることが必要であると強調。受講者からは明日からの店舗経営に活かしていきたいという声が多く聞かれた。



担当：産業・地域振興課





2
18

海外で戦える強い企業のスタイルとは 繊維部会特別講演会

クールジャパン機構社長の太田伸之氏が講演。太田社長は、日本企業が海外企業の要求通りに出荷価格を下げることで、海外の小売店が大きく儲けているビジネスは「クール」ではなく、電卓を叩いて値段を下げる前に、製品の良さを説明すべきと主張。「カッコいいプレゼンをしなければ世界で売れない」として、商品の売り方や並べ方の工夫を求めた。また、世界の人気ブランドが日本の繊維素材を大量採用するなど高い評価を受けているが、商品企画の7割がプレシーズンコレクションで決まることへの対応と海外で恒常的に日本の繊維を紹介するコンソーシアムが必要と述べた。



担当：繊維部会



2
20

「チャイナプラスワンに向けて」 中国事業再編セミナー

中国事業再編セミナー

生産拠点などを中国以外に分散化するチャイナプラスワンに向けた取り組みについての留意点を学ぶセミナーを開催し、21名が参加した。講師の中小企業基盤整備機構の国際化支援プロジェクトマネージャーの太田光雄氏は、近年の中国での人件費の高騰のほか、外資系企業に対する規制などのリスクを説明した上で、具体的な中国からの撤退方法や今後新興国をはじめとする海外進出する際の留意点を挙げた。太田氏からは撤退する場合のことも十分検討し、取り決めを行った上で進出をしなければならないと助言し参加者は熱心に内容を聴いていた。



担当：地域事業課



「経営計画作成支援セミナー」 開催のご案内

「小規模事業者持続化補助金」の申請に対応した「経営計画書」（補助金申請書）の作成をサポートするセミナーを2日間シリーズで開催します。

[日時] (1日目) 4月10日(金)
(2日目) 4月17日(金)

いずれも13:30~16:30

[会場] 福井商工会議所ビル 国際ホール

[講師] シナジー経営(株)

北出経営労務事務所

代表 北出 慎吾 氏

[定員] 先着40名

(2日間いずれもご受講いただける方対象)

[受講料] 無料 ※事前のお申込みが必要です

詳しくは、別冊のセミナー&インフォメーションをご覧ください。

2
Feb

5日 ■ FUNTECフォーラム

6日 ■ 経営革新シンポジウム

10日 ■ 会員交流会「デジタルカメラで撮影テクニックを学ぶ」

16日 ■ 販促ワクワクミーティングオープンセミナー

18日 ■ 支店長交流会

■ 繊維部会特別講演会

■ 1級・3級販売士検定試験

20日 ■ 中国事業再編セミナー

22日 ■ 第139回日商簿記検定試験

24日 ■ 賃金制度セミナー

■ 若者応援企業等研修会

25日 ■ 中小企業委員会

26日 ■ 経済特別講演会

■ 総務部長交流会

27日 ■ 施策事業説明会

3
Mar

2日 ■ 議員懇談会

■ 記事掲載分

「会議所の動き」